

鹿嶋さん

第 2 号
 発行日 平成 24年 3月 3日
 発行先 新屋鹿嶋祭保存会
 発行責任者 伊藤 富美雄
 編集 保存会広報部
 事務所 日吉神社会館

発足からこれまでの活動報告

【平成23年】

- 11月20日 保存会発足総会
- 12月2日 保存会準備会解散
- 12月18日 第1回役員会
(三役、事務局、理事出席)

【平成24年】

- 1月1日 新屋振興会機関紙
「新屋衆報」記事掲載
- 1月7日 新屋振興会新年会出席
(伊藤富美雄会長、藤枝隆博総務出席)
- 1月10日 保存会機関紙第1号
「鹿嶋さん」発行
会員配布、ウェスター、日吉神社会館に掲示しています。
- 1月21日 新屋郷土会新年会
(赤坂光一市議 保存会理事、高橋伸理事出席)
- 2月6日 三役会議
- 2月19日 会員全体会議



総会での鹿嶋囃子の演奏

二月十九日、日吉神社会館において新屋鹿嶋祭保存会が発足してから初めての「会員全体会議」が開かれ役員・会員など四〇名が集まりました。伊藤富美雄会長から「保存会の会員も五〇名を数え、今日の全体会議で保存会の事業計画と部会の活動内容を具体的に検討していただきたい。秋田市のねぶり流し館に勝平鹿嶋祭保存会の船が展示されており、資料も展示されていた。我々の保存会も鹿嶋祭の歴史を研究し後世に正しく伝えていくため努力したい」と挨拶がされました。議題にうつり藤

枝隆博総務から「会員拡大と入会書の案内」があり「新しい入会書を活用し各町内会で保存会活動を担う会員を増やして欲しい」と提案があり、大塚正一会計からは入会時の手続きと領収書の発行など説明がありました。

「平成二三年度事業計画」では「事業内容と部会の活動目標」が説明され、各部会では部長、副部长を選出し、部会を中心に進めて行くことにしました。特に鹿嶋祭の「歌」と「太鼓」が、各町内で微妙な違いがあることから、保存会として時間をかけて議論して一定の見解と方向性を定めて行くことにしました。

会員相互の「歌」「太鼓」の歌唱指導をはじめ、各町内会への鹿嶋囃子の指導に向くほかデモテープ制作など確認しました。また、鹿嶋祭に関する資料、文献、写真収集を行い調査研究活動をすすめる「資料写真展」「鹿嶋祭りの今昔を語る会」などの開催を確認しました。

「様々な方法で保存会を応援したい」と入会希望する方々もおり、部会所属を加入条件としないことも説明されました。

初の会員全体会議を開催 事業計画・部会部長など決める

まとめとして石澤千秋副会長(日吉神社宮司)から「保存会の方向性が見えてきた。伝統行事の保存と継承活動に向けて会員拡大をお願いします」と締めくくりました。その後懇親会で会員相互の親睦を深めました。

お詫びと訂正

前号の役員氏名に誤記がありましたのでお詫びし訂正します。正しいお名前「理事 佐藤 吉茂」「理事 小野 良治」を掲載して見てください。

☆インターネットで「新屋振興会」を検索して見てください。

新屋振興会ホームページで紹介
 ○新屋振興会のホームページ担当の高橋伸さんは上表町会長さん。保存会の広報部長に就任されました。これまでもホームページで保存会発足総会、入会案内などしていただきましたが、今回は保存会ニュース「鹿嶋さん」と「会員全体会議」の資料を掲示していただきました。

○一月二十一日東京都内で新春恒例の「新屋郷土会新年会」が開かれ、鹿嶋祭保存会発足の報告をしたところ二名の方々が保存会に加入されました。

部会の部長・副部长	小島 初男
事業部 部長	小島 初男
副部長	狩野 紀男
広報部 部長	高橋 伸
副部長	森本 読春
調査研究部 部長	藤枝 隆博
副部長	小玉 隆太郎
実技部 部長	金澤 國太郎
副部長	鈴木 恭治
制作部 部長	鈴木 富夫
副部長	富野 勝輝
副部長	國安 明
副部長	石黒 和雄
副部長	柴田 茂男